

外国特許トピックス

2023年1月
弁理士法人志賀国際特許事務所
(外国事務部 加藤基志)

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
外国特許出願に関し、最近のトピックス等をお知らせいたします。

2020年度のインド特許出願統計

インド特許庁より公表されている2020年4月1日から2021年3月31日までの1年間におけるインド特許出願統計(最新版年報)に基づき、インド特許出願の概況について紹介いたします。

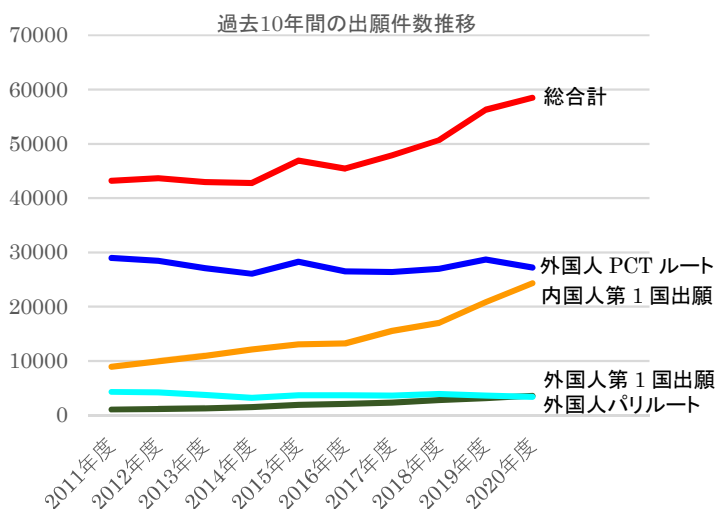
1. 出願件数

2020年度のインド特許出願総件数は58,503件(前年度比4.0%増)でした。内訳は以下のとおりです。

		2020年度	前年度比
内国人		24,326	+16.7%
外国人	第1国出願	3,565	+13.0%
	パリルート	3,382	-5.7%
	PCTルート	27,230	-5.1%
	合計	34,177	-3.5%
総合計		58,503	+4.0%

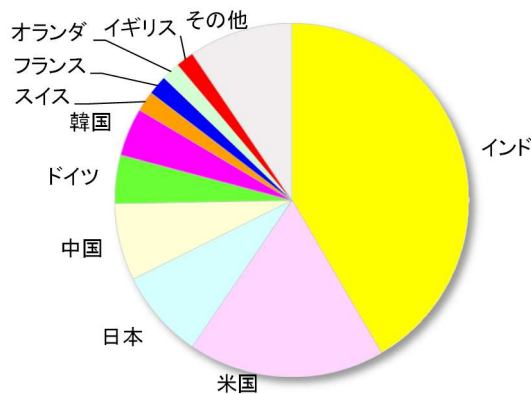
外国人による第1国出願件数は10年連続で前年度比約10%~30%の幅で増加しています。一方で、今年度の第2国出願件数は両ルートで減少し、外国人出願において第1国出願件数がパリルート出願件数を初めて上回りました。

技術分野別では、バイオメディカルと化学が大きく伸びたのに対し、医薬品は前年度の5,622件から今年度は80件と激減しました。



2. 上位出願国(10ヶ国)

順位	国名	2020年度	前年度比(%)	全体占有率
1	インド	24,326	+16.7%	41.6%
2	米国	10,487	-0.7%	17.9%
3	日本	4,782	-2.6%	8.2%
4	中国	4,108	+8.4%	7.0%
5	ドイツ	2,589	-4.1%	4.4%
6	韓国	2,576	-8.3%	4.4%
7	スイス	1,084	+1.1%	1.9%
8	フランス	1,045	-11.1%	1.8%
9	オランダ	994	-20.6%	1.7%
10	イギリス	965	+0.6%	1.6%
-	その他	5,547	+2.7%	9.5%
合計		58,503	+4.0%	100.0%



内国人出願件数は前年度に続き大きく伸びています。来年度は外国人PCTルート出願件数よりも多くなり、数年後には外国人出願件数の合計よりも多くなると思われるほどの勢いです。外国人からの出願件数は中国以外伸び悩んでいます。中国は上位10ヶ国で唯一、第1国出願、パリルート、および、PCTルートのいずれにおいても前年度比で増加しています。来年度のトップ3は顔触れが変わっているかもしれません。

在外国出願人上位10社のうち、トップの韓国企業SAMSUNGは前年度比で3.0%減少、残りの上位6社も約15~30%の幅で減少しています。第9位のフィンランドの通信関連企業NOKIA TECHNOLOGIES OYは、通信分野が前年度比で減少する中、フィンランドの出願件数(456件/第13位/前年度比64.0%増)の約60%となる263件と今年度急増しました。

3. 審査および登録件数

2020年度の審査件数(Office Action発行件数)は73,165件(前年度比8.6%減)、登録件数は28,385件(前年度比13.8%増)でした。インド特許庁は、COVID-19パンデミックのために課されたロックダウンの影響を最小限に抑えるための措置(オフィスは部分的に25%の稼働など)を講じ審査効率が著しく低下したことを認め、しかしながら、在宅勤務の整備やオンライン活動の拡張を行って作業負荷の再配分を実施し、特許出願が審査されるまでの期間が前年度の24~32ヶ月と比較して、今年度はほとんどの技術分野で出願日から12ヶ月未満に短縮されたと発表しました。

以上